

「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて (魅力・交流・文化分野) 事業評価一覧 (平成30年度に実施した事業)

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P 戦略事業	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	H30 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の成果・課題」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何を)	取組(何を)						
本市への定住と東京圏からの移住等の促進	IV-13	移住・定住の促進	好循環P 戦略事業	東京圏在住者に本市の魅力を知ってもらい、本市へ移住・定住する人口を増加する。	東京圏を中心とした、本市外に在住する住民	・本市の魅力・情報の発信 ・ワンストップ窓口による相談受付 ・本市での生活を体験できる機会としてのみや暮らし体験の実施	計画どおり	4,503	H28	独自性 先駆的	①【事業の実施効果に基づく情報発信手法の精査】 ・「宇都宮市 移住・定住相談窓口」において、移住・定住アプリ、パンフレットを活用しながら、東京圏在住者に対して移住・定住に関する情報を発信したことなどにより、相談件数(66件⇒80件)が増加した。 ・また、新たに本市の住みよさや魅力を体験する「みや暮らし体験事業」を実施したことで、実際の移住につながるなど一定の効果を得ることができた。今後は、発信する情報の精査や、相談後のフォローアップを一層強化していく必要がある。 ②【東京圏への情報発信の強化と移住体験事業の充実】 移住検討者が移住先を選定する際に大きな判断要素となる「働く」「住まう」に関する情報をより効果的に取得できるよう、移住・定住アプリの配信情報の更新や内容充実を図るとともに、「みや暮らし体験事業」については取組期間の拡大など内容の充実を図りながら、更なる移住・定住の促進に努めていく。	拡大
宇都宮ブランド戦略の推進	IV-13	都市ブランド戦略の推進	好循環P 戦略事業	・官民連携による都市ブランド戦略の推進 ・都市ブランド戦略への参画促進 ・広報媒体の戦略的な活用 ・地域資源を活用したブランディングの推進	市・内外の人、企業等	「ブランド・メッセージ」をもとにした、情報発信	計画どおり	53,834	H20	先駆的	①【効果的な情報発信とブランド戦略の充実】 「オリジナル愉快ロゴ事業」や「宇都宮市民シティプロモーション支援事業」など、市民参加型の取組の着実な実施により、市民の愛着度が高まり、企業や団体自ら街を盛り上げようとする機運が醸成された。また、国内最大規模のメディア向け情報配信サイトなどを活用し、幅広く情報発信を行ったことにより、市外メディアへ本市の地域資源などが多く露出するようになった。 ②【企業等と一体となった戦略的な取組の充実】 今後は、より効果的な情報発信ができるよう、企業が持つ発信力の活用のほか、受け手目線に立ち、ターゲットに応じた適切なツールを選択することにより、戦略的な情報発信に取り組むとともに、市民・企業・団体が一体となった取組を着実に展開することにより、さらなる宇都宮ブランド戦略の充実を図る。	
ジャパンカップサイクルードレースの開催	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	好循環P 戦略事業	交流人口の拡大、地域経済の活性化、ブランド力の向上、市民プライドの醸成、サイクリススポーツの振興	NPO法人ジャパンカップサイクルードレース協会	ジャパンカップサイクルードレースの開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	163,200	H4	トップクラス	①【出場選手数の増による交流人口の拡大と地域経済の活性化】 UCI(国際自転車競技連合)が定める「オークラス」の出場選手数120名以上を招聘し、安全かつ円滑な運営を行い、迫力のあるレースが展開されたことでクリテリウムに5万人、ロードレースに8万2千人、合計13万2千人と過去2番目に多い来場者数を記録し、交流人口の拡大や地域経済の活性化等、大会開催に伴う効果をさらに引き上げることができた。 ②【クリテリウム10回記念レースの開催と大会のさらなる魅力向上】 令和元年度はクリテリウムが節目の10回目の開催となることから、世界で活躍する有名チーム、選手を招聘することはもちろんのこと、多彩な付帯イベントを実施し、メモリアルレースに相応しい盛り上がりを作り出す。また、令和2年度にレースカテゴリーの改定が予定されることから、大会の魅力の維持、向上のための調査、研究を行う。	拡大

都市魅力創造事業 (FIBA3x3ワールドツアー宇都宮マスターズの開催及び3x3の普及促進)	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ		交流人口の拡大、地域経済の活性化、ブランド力の向上、市民プライドの醸成	・2018 FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters実行委員会 ・全市民	・宇都宮マスターズの開催に係る費用の一部を交付 ・市内全小学校へ3x3専用ボールの配布や学校や公園へのバスケットゴールの設置	計画どおり	67,311	H28	トップクラス	①【街なか全体の盛り上げによる交流人口の拡大と地域経済の活性化】 『街なかを巨大アリーナに』をコンセプトに、中心商店街や関係団体と連携したパブリックビューイングの実施や飲食ブースの出店、バスケットボールミュージアムの開設、スタンプラリーの実施、市内小学生(12歳以下)を対象とした3x3大会の開催等の関連イベントを展開し、猛暑や台風の接近といった状況にもかかわらず、2日間で67,000人(対前年比約10%増)が街なかを訪れ、4億5,700万円(対前年比約12%増)の経済効果を創出し、交流人口の拡大や地域経済の活性化等、大会開催に伴う効果をさらに引き上げることができた。 ②【ワールドツアーファイナルの開催と3x3の普及促進】 令和元年度は、3x3クラブ世界一を決める「ワールドツアーファイナル」を開催するとともに、「宇都宮餃子祭り」、「MIYA JAZZ INN」、「宮の市」といった本市を代表する観光イベントも同日開催し、一体的に連携しながら、宇都宮史上最大の賑わいを創出する。また、引き続き実施する市内小中学校へのバスケットゴール設置など、広く市民に対して「3x3のまち宇都宮」の普及促進を図る。	拡大
宇都宮サイクルスポーツ推進事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	好循環P戦略事業	サイクルスポーツの振興による交流人口の拡大や地域経済の活性化	宇都宮サイクルスポーツ推進委員会	宇都宮シクロクロス開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	9,681	H27		①【UCIレースによるサイクルスポーツの振興と魅力的な付帯イベントによる誘客促進】 UCI(国際自転車競技連合)公認レースの開催を2日間に拡大し、海外選手をはじめ、国内のトップ選手による迫力ある高質なレースを展開することで、サイクルスポーツの振興を図るとともに、クリスマスの装飾や多彩な出展ブース、スタンプラリーの実施など、魅力的な付帯イベントを実施することで、2日間で25,000人の誘客を図ることができた。 ②【大会のさらなる魅力向上】 市内飲食店におけるシクロクロス映像の放映や、子どもたちがシクロクロスを体験できるスクールなど、イベントの開催により、シクロクロスの認知度向上を図るとともに、大会当日もUCI公認レースの2日間開催を継続し、シクロクロスと親和性の高いアウトドアの雰囲気にあった会場づくりや魅力的なイベントを開催することで、更なる賑わいを創出する。	
プロスポーツチーム支援事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ		・プロスポーツチームへの支援と連携	・本市を拠点に活動する3プロスポーツチーム ・市民及び本市来訪者	・公式戦や練習等に関する活動環境への支援 ・ファン層拡大のための広報活動への支援 ・ホームゲームを活用した本市の魅力のPR	計画どおり	0	H26		①【プロスポーツチームへの支援と連携】 公式戦や練習等における市有施設の優先使用のほか、観戦環境の向上や広報活動、宇都宮愉快デーの実施等、プロスポーツチームへの支援と連携を引き続き実施した。 ②【プロスポーツチームへの支援と連携の継続】 プロスポーツチームは、経済的、社会的、教育的効果を地域にもたらすなど、本市の優れた地域資源のひとつであることから、これらの効果を最大限に引き上げられるよう、各チームの方針や課題等を把握しながら、引き続き、支援と連携に取り組む。	
自転車を活用した誘客促進事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	好循環P戦略事業	森林公園の恒常的な利用促進とジャパンカップ開催環境の向上	市民及び本市来訪者	森林公園の機能向上とジャパンカップの開催環境の向上に係る方針の策定	計画どおり	78,215	H29		①【森林公園の機能向上に向けた調査の実施】 ・大谷周辺地域における森林公園の役割と必要な機能を明確化するとともに、ジャパンカップや古賀志地域の豊かな自然といった地域資源を生かしながら、大谷地域との連携を図ることで、特色ある地域空間を創出できるよう調査を実施した。 ・UCI(国際自転車競技連合)競技規則の変更による参加選手の増加に対応できるよう、オフィシャルエリアや観戦エリアが集中するスタートフィニッシュ地点の森林公園駐車場を拡張した。 ②【森林公園の機能向上に向けた取組】 ・平成30年度の調査を基に、森林公園の恒常的な利用促進とジャパンカップの開催環境の向上を図れるよう方針を策定する。 ・ジャパンカップにおける観戦環境の充実や、レースの走行環境の向上に取り組む。 ・大谷地域におけるアクティビティの事業化支援により、相乗効果の創出に取り組む。	

誘客案内サイン等整備事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ		森林公園までの円滑な誘導と大会コースの視認性を高めることによる恒常的な誘客の促進	市民及び本市来訪者	・森林公園までの誘客案内サインの整備 ・大会コース内における路面標示等の整備	計画どおり	4,526	H28		①【森林公園までの誘客案内サインの充実】 平成28年度のJR宇都宮駅及び平成29年度のろまんちっく村に加え、平成30年度は新たに大谷地区からの誘客案内サインを整備したことで、本市を訪れるサイクリストや観光客の多くが利用する拠点からジャパンカップ会場となる森林公園に向かう環境整備を実施することができた。	廃止・終了
大谷観光景観形成事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P戦略事業	大谷地域観光の推進	城山地区総合開発推進協議会	大谷・多気地区の美観維持に係る費用(岩肌のつた、雑草除去及び奇岩景観の保全)の一部を補助	計画どおり	3,000	H15		①【景観形成の取組効果の向上】 地元団体と連携を図りながら、日本遺産の構成文化財でもある越路岩の岩だしなど、高所箇所の景観向上を図った。 ②【大谷地域の景観形成に向けた機運醸成】 大谷地域の観光を推進するため、周遊性の向上や景観形成重点地区の指定に向けた機運の高まりに繋がるよう、引き続き、地元団体との連携を図りながら、大谷の魅力ある景観形成に引き続き取り組む。	
大谷特性活用支援事業(※大谷石産業振興事業含む)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P戦略事業	大谷地域の特性を活用した産業の創出	・市内に事務所又は事業拠点を有する法人、LLP ・国内の高等教育機関、又は当該高等教育機関に所属する教職員を代表とする研究グループ	大谷地域の貴重な地域資源を活用した新たな地域産業等の創出や、地域資源について学術的視点から調査研究を行う取組に係る経費の一部を補助	計画どおり	4,452	H23		①【新たな地域産業等の創出】 稼働中の大谷石採取場で石産業の工程等の見学を行う産業観光事業や未利用資源である大谷石の粉を活用した「大谷焼」事業などの具体化を図った。 ②【地域資源等の活用促進】 大谷地域の特性や地域資源の有効活用、地域産業の創出に資する取組に関する機運が醸成されてきたところであり、これらの動きを促進するため引き続き、支援を行っていく。	
大谷観光推進事業	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P戦略事業	大谷地域の観光・周遊の促進	本市来訪者、市民	大谷周辺地域で低未利用となっている資源のフル活用及び観光周遊の拠点となる機能・施設の検討・整理	計画どおり	23,145	H29		①【交通インフラのあり方等の整理】 ・観光入込客数120万人に向け必要となる交通インフラのあり方、拠点機能の優先候補地及び必要となる機能等を整理した。 ・赤川ダム湖面を活用した水上アクティビティの事業可能性を確認することができた。 ②【交通インフラ及び拠点機能の整備】 ・周辺道路の開発状況及び観光交通社会実験の実施・分析等を踏まえ、望ましい交通インフラ計画について検討・整理するとともに、周遊環境の向上に向けた道路機能の最適な維持・管理の手法について検討を行う。 ・地元意見を伺いながら、大谷公会堂を含めた拠点機能の整備場所を確定するとともに、周辺地域の開発状況等の動きを注視しながら、基本計画を取りまとめる。	

大谷地域資源活用事業 (冷熱エネルギーを活用した大谷地域の振興)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環戦略事業	冷熱エネルギーを活用した、大谷地域の振興	市内外の企業、地域住民	大谷地域における冷熱エネルギーの持続的活用に関する利用方を整理するとともに、冷熱利用の本格化に向けた民間の取組を支援	計画どおり	15,416	H24	独自性	<p>①【事業具体化に向けた民間の取組等の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷熱エネルギーの供給・管理事業を行う民間事業者が主体となり、駒生地区に熱供給拠点を整備するとともに、大谷夏いちごの生産者への熱供給事業を開始した。また、駒生地区において1者が新規参入に向けた準備を開始するなど、民間事業者の参画が広がりにつつある。 冷熱エネルギーを活用した新たな事業の具体化に向け、保冷倉庫事業及びデータセンター事業への冷熱エネルギー活用に興味を示す民間事業者と継続的に協議を行った。 <p>②【事業具体化に向けた継続的調査等の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏秋いちご栽培の栽培面積・生産量の拡大、新たな冷熱利用事業の具体化に向け、関係機関と連携した企業誘致や環境整備を促進させるとともに、冷熱エネルギーを持続的かつ安全に活用・管理する仕組みの構築に向け、熱供給事業が始動する駒生地区において利用状況等にかかるモニタリング調査を継続的(平成29年～令和元年の3か年予定)に実施する。
大谷石利用促進事業補助金	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進		大谷石需要の拡大及び大谷石産業の振興	市内で新築・増改築を行う際、内外装の材料として、大谷石を活用する建築主	市内で居宅・店舗等の内外装等の材料として、大谷石を利用した者への経費の一部を補助	計画どおり	4,723	H22		<p>①【大谷石産業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷石が居宅・店舗等の内外装材として、安定的な利用が図られるなど、大谷石の需要拡大、大谷石産業の振興に繋がっている。 <p>②【大谷石産業の持続的振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷石のブランド力向上による大谷石需要の拡大及び大谷石産業の活性化を図るため、引き続き、居宅・店舗等の内外装材として大谷石を利用する建築事業者等の支援を行っていく。
(公財)大谷地域整備公社運営費補助金	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進		大谷石採取場跡地等の安全対策事業の総合的な推進	(公財)大谷地域整備公社	民生の安定に向けた大谷地域の安全対策に係る事業運営費の一部を補助	計画どおり	32,520	H2		<p>①【安全対策の遂行】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観測システムによる振動の常時監視・解析を行うとともに、県、市、公社、警察などが連携した危機管理体制を整え迅速な情報周知等を実施する。 <p>②【着実な安全対策の遂行】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷地域の安全対策の推進及び市民生活の安定を図るため、(公財)大谷地域整備公社による観測システム等の安全対策を着実に運用していく。
観光宣伝事業	IV-14	戦略的観光の推進		本市の魅力ある観光情報の発信を行うことで、本市知名度の向上及び、本市への誘客を図る	首都圏及び新幹線沿線都市を中心とした、本市外に在住する方	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット(るるぶ宇都宮)作製、配布 観光パンフレット(ミニるるぶ)新規作成、配布 餃子、ジャズ、カクテルマップの配布 ホームページやSNSによる情報発信 	計画どおり	8,409	S59		<p>①【効果的な観光宣伝事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光施設や首都圏等における観光キャンペーンの際に積極的に観光パンフレットを配布するなど、本市の魅力ある観光情報を伝えることで、平成30年の観光入込客数は1,512万人と過去最高を更新した。 <p>②【戦略的な観光PRの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、観光動態調査などの分析結果をもとに、年齢層や場所などのターゲットを捉えながら、キャンペーンやイベント等を実施するとともに、宇都宮観光コンベンション協会のSNSなどを活用しながら、鮮度の高い情報発信に取り組んでいく。

観光セールス強化事業	IV-14	戦略的観光の推進		首都圏や新幹線沿線都市等でのプロモーションや、時期を捉えた情報発信を行うことで、本市への誘客促進を図る	首都圏及び新幹線沿線都市を中心とした、本市外に在住する方	本市来訪の契機とするための、トップセールス、メディアの活用、キャンペーンキャラバンを実施	計画どおり	6,030	H23		<p>①【観光セールスの実施】</p> <p>首都圏をはじめ、横浜や仙台など新幹線沿線都市でのプロモーションや、閲覧数の多い情報サイトへの観光情報の掲載を行ったことから、平成30年の観光客入込数は1,512万人と過去最高を更新した。</p> <p>②【観光プロモーションの更なる充実】</p> <p>今後は、これまでの都市でのプロモーションはもとより、観光客の観光動向を捉えながらPRを拡大するなど、宇都宮観光コンベンション協会等と連携を図りながら、観光セールスの強化を図っていく。</p>
広域連携事業	IV-14	戦略的観光の推進		近隣市町、栃木県、首都圏を中心とする自治体や、観光関連団体と連携した観光PR事業を行い、本市知名度の向上及び、本市への誘客を図る	首都圏及び新幹線沿線都市を中心とした、本市外に在住する方	・栃木県観光物産協会や、関東観光広域連携事業推進協議会などの各団体と連携した、国内外での観光PRの実施や広域周遊ルートの作成	計画どおり	1,119	H18		<p>①【広域連携の推進】</p> <p>ディスティネーションキャンペーンによる県内市町はもとより、日光市やうま市などとの連携強化や、広域観光団体への加入及び当該団体活動に参加することで、広域的な誘客宣伝活動を展開することができた。</p> <p>②【更なる広域連携の強化】</p> <p>今後は、県や関係団体とともに、国内での観光キャラバンや商談会・旅行博への参加、海外からの旅行エージェントの招聘、新たな観光ルートの創出など、更なる広域連携を図っていく。</p>
栃木県アンテナショップ運営事業(負担金)	IV-14	戦略的観光の推進		首都圏において、本市観光情報を発信することで、本市への観光誘客を図る	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」	本市加工品の販売や観光情報の発信など運営経費の一部を負担	計画どおり	4,269	H24		<p>①【アンテナショップの活用促進】</p> <p>首都圏のアンテナショップにおいて、特設ブースの設置などの積極的な観光PR活動を展開することで、市の知名度やブランドの向上による誘客促進が図られた。一方で、出店してから6年を経過しており、よりPR効果を高めるための取組が必要である。</p> <p>②【本市観光資源の更なるブランド力の向上】</p> <p>今後は、栃木県及び県内の市町が一体となって、来店者の行動を分析しながら、首都圏におけるアンテナショップを活用した、物産等の販売やイベントスペースでのPRを実施し、観光客等に向けた情報発信等を展開していく。</p>
大谷地域周遊促進事業	IV-14	戦略的観光の推進		二次交通を活用した市内周遊を促進することで、観光客の利便性を高める	本市来訪者	・みや観光周遊バス(大谷～若山農場～宇都宮動物園～ろまんちっく村)の運行 ・バス乗車券に観光施設入場券等を付帯した企画乗車券を販売	計画どおり	1,169	H26		<p>①【大谷周辺地域の周遊促進】</p> <p>周遊バスの運行により、本市の観光拠点である大谷及び市北西部に点在する観光資源をつなぎあわせたことにより、観光客の滞在時間の延長や、満足度の向上が図られた。</p> <p>②【民間事業者との連携強化】</p> <p>今後は、民間事業者による大谷地域を巡る企画乗車券の更なる充実について検討するとともに、交通事業者等と連携を図りながら、二次交通の充実を図っていく。</p>

外国人の誘客促進事業	IV-14	戦略的観光の推進		外国人観光客の誘客促進に取り組むことで、市内経済の活性化を図る	外国人観光客	・海外での本市プロモーション ・外国語版パンフレットの作成・配布・PR	計画どおり	5,558	H27		<p>①【台湾、タイなどからの市内宿泊数が増加】 多様化する外国人旅行者のニーズや旅行トレンドなどを捉えた誘客プロモーションを実施したことから、ターゲットとした台湾やタイの本市への宿泊数が増加した。</p> <p>②【新たなターゲット国の検討】 今後は、海外での観光情報発信と、現地旅行会社によるツアー造成依頼等を行うとともに、更なる外国人観光客に訪れてもらえるよう、ビッグデータ等を活用した分析を行うなど、更なるインバウンドの拡大を図っていく。</p>	拡大
観光拠点創出事業	IV-14	戦略的観光の推進	戦略事業	本市の特色を活かした観光拠点を整備することで、メディア等への露出を促し、市外からの誘客促進を図る。	餃子通り(宮島町通り)	・餃子をテーマとした様々な装飾 ・マスメディア等を活用した情報発信	計画どおり	2,000	H13		<p>①【官民一体となった観光拠点の整備】 宇都宮市DC推進委員会を中心としながら、4月に「餃子通り」をオープンさせ、餃子をモチーフとした様々なアイテムを整備し、餃子通りの知名度、ブランド力の向上を図ることができた。</p> <p>②【観光拠点の更なる磨き上げ】 今後も、観光客に目的地として訪れてもらえるよう、新たなアイテムを設置するなど集客性や話題性の向上を図るとともに、民間事業者等と連携しながら、餃子通りの更なる磨き上げに取り組んでいく。</p>	拡大
フェスタin大谷事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進		「フェスタin大谷」の開催を支援することで、本市の観光拠点である大谷地域観光を推進する	フェスタin大谷実行委員会	「フェスタin大谷」の開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	3,000	H13		<p>①【大谷の魅力発信】 「フェスタin大谷」の開催・運営を協力・支援することにより、本市の重要な観光地である「大谷」の夜の魅力を創出し、平成29年度よりも来場者数が増加した。(H29 24,000人⇒H30 26,000人)</p> <p>②【大谷の観光振興の推進】 今後も、「石の里・大谷」を県内外に向けて広くPRし、更なる誘客促進を図る必要があることから、官民連携を図りながら、「フェスタin大谷」を通じた大谷地域の活性化と観光振興に取り組んでいく。</p>	
ふるさと宮まつり事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「ふるさと宮まつり」の開催を支援することで、郷土文化の醸成や本市のイメージアップにつなげる	ふるさと宮まつり開催委員会	「ふるさと宮まつり」の開催に係る費用の一部を補助	計画どおり	11,100	S51		<p>①【知名度向上と誘客促進】 「ふるさと宮まつり」の開催を支援することにより、多くの観光客が本市を訪れ、中心市街地の活性化や本市の知名度向上が図られた。</p> <p>②【実行委員会への持続的な支援】 今後も、北関東最大規模の祭りである「ふるさと宮まつり」の支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。</p>	

うつのみや花火大会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「うつのみや花火大会」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	特定非営利活動団体うつのみや百年花火	「うつのみや花火大会」の開催に係る費用の一部を補助	計画どおり	3,000	H19		<p>①【知名度向上と誘客促進】 「うつのみや花火大会」の開催を支援することにより、多くの観光客が本市を訪れ、地域経済の活性化や本市の知名度向上が図られた。</p> <p>②【実行委員会への持続的な支援】 今後も、全国に誇れる花火大会である「うつのみや花火大会」の支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。</p>
MotoGP活用事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進		「MotoGPプレイベント」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	MotoGPプレイベント実行委員会	近隣自治体とともに、プレイベントを開催する費用を交付	計画どおり	453	H24		<p>①【宇都宮市内への誘客促進】 ツインリンクもてぎで開催された、世界各国からの選手や観客が来場する「Moto GP世界選手権シリーズ」の開催に合わせて、効果的な観光宣伝事業を展開し、本市知名度の向上及び誘客強化が図られた。</p> <p>②【実行委員会への持続的な支援】 今後も、世界各国から多くの選手や観客が来場する「MotoGP世界選手権シリーズ」の支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。</p>
ジャズのまち活性化事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「ミヤジャズイン」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	ミヤ・ジャズ推進協議会	イベントに係る費用の一部を交付	計画どおり	1,000	H22		<p>①【ジャズを活用した中心市街地活性化、観光誘客促進】 ジャズイベント等の開催により、宇都宮のジャズの知名度及びブランド力の向上が図られたとともに、中心市街地の活性化や観光誘客が促進された。</p> <p>②【協議会への持続的な支援】 今後も、多くの来場者が訪れる「ミヤジャズイン」の支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。</p>
デスティネーションキャンペーン事業(交付金等)	IV-14	戦略的観光の推進		国内最大級の観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーンを契機捉え、観光客の本市への誘客促進を図る	宇都宮市DC推進委員会	事業実施に係る経費を補助	計画どおり	12,000	H28		<p>①【デスティネーションキャンペーンを活用した誘客促進】 交通事業者や観光関連団体などで構成される「宇都宮市DC推進委員会」において、官民連携を図りながら、餃子通りのオープンや宮のSAKEフェスなどの新規イベントなどを開催し、前年同期よりも入込客数及び宿泊者数が増加した。</p> <p>②【官民一体となった観光振興】 今後も宇都宮市DC推進委員会などの構成団体と連携し、デスティネーションキャンペーンで整備した「餃子通り」の更なる磨き上げをはじめ、「日本遺産」に認定された大谷石文化の活用、「夜の観光」の充実・強化を図りながら、観光誘客に取り組んでいく。</p>

観光コンベンション協会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		観光振興の中核的役割を担う宇都宮観光コンベンション協会の支援を行うことで、本市への観光誘客による市内経済の活性化を図る	宇都宮観光コンベンション協会	観光推進事業やコンベンションの誘致、フィルムコミッションなどの事業運営に要する経費の一部を補助	計画どおり	67,344	H12		<p>①【官民一体となった観光事業の推進】</p> <p>本市の観光・コンベンション事業を展開する宇都宮観光コンベンション協会を支援し、本市観光のPRを強化することにより、昨年の観光入込客数は過去最高の1,512万人を達成するなど、本市の観光振興が図られた。</p> <p>②【観光コンベンション協会の機能強化】</p> <p>今後は、観光客のニーズの多様化や、東京オリンピック・パラリンピック等の大型イベントの開催が控えているなど、観光を取り巻く環境が大きく変化していることから、それらに柔軟かつ機動的に対応できる団体となるよう、観光コンベンション協会の機能強化に向けて取り組んでいく。</p>
宇都宮さつき&花フェア開催事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進		市花のPR・花き・花木の普及定着と生産振興	宇都宮さつき&花フェア実行委員会	「宇都宮さつき&花フェア」の開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	2,520	H8		<p>①【知名度向上と誘客促進】</p> <p>「宇都宮さつき&花フェア」を開催することにより、宇都宮市の花「さつき」を全国にPRするとともに、誘客促進が図られた。</p> <p>②【実行委員会への継続的な支援】</p> <p>今後は、市の花「さつき」の理解促進と更なる誘客促進を図る必要があることから、引き続き、「宇都宮さつき&花フェア実行委員会」を支援していく。</p>
農業・農村ふれあい交流事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		農業・農村地域の活性化と交流人口の拡大	農業・農村ふれあい交流事業を実施する市内の地域農業者等で構成される団体	都市と農村の交流に係る事業費用の一部を補助	計画どおり	100	H17		<p>①【都市と農村の交流促進】</p> <p>本市の豊かな「農」資源を活用し、癒し・やすらぎを求める都市住民のニーズに対応した農村地域と都市住民との交流事業を展開することにより、都市と農村の交流促進が図られた。</p> <p>②【団体等への継続的な支援】</p> <p>今後は、市外からの観光客や市民を含む都市住民に対し、農業や収穫などの体験をしてもらうことで、都市と農村の交流や農村地域の活性化が図られることから、引き続き、農作業体験等のふれあい交流事業を実施する団体を支援していく。</p>
農林公園整備事業	IV-14	戦略的観光の推進		農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全、魅力向上に伴う整備等	計画どおり	17,548	H8		<p>①【観光施設の維持管理】</p> <p>来園者のニーズに対応した公園整備(新規施設整備、既存施設の改修・修繕)を行うとともに、「道の駅ろまんちっく村」の持つ知名度と情報発信力を活かし、市外・県外からの集客力の向上と北西部地域の活性化を図った。開館から20年を迎え、施設の経年劣化が進行していることから、農林公園施設点検調査業務報告書に基づき、指定管理者との役割分担による計画的な改修・修繕を実施するとともに、今後の整備計画を作成する必要がある。</p> <p>②【適切な管理運営】</p> <p>適切な管理運営を行っていくことが重要であることから、引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の維持修繕工事を計画的に実施していく。</p>

地域交流館整備事業	IV-14	戦略的観光の推進		農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全等	計画どおり	11,832	H20		<p>①【観光施設の維持管理】 上河内地域交流館を適正に維持管理し、地域資源を活用した農林産物の加工体験等を通して、多様な農村交流を促進し、地域の活性化を図った。</p> <p>②【適切な管理運営】 適切な管理運営を行っていくことが重要があることから、引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の維持修繕工事を計画的に実施していく。</p>
おもてなし推進委員会運営事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		市民や事業者のおもてなし能力の向上させ、本市を訪れた観光客に、「来てよかった」、「また訪れたい」と感じていただき、本市への再訪につなげる	おもてなし推進委員会	観光ボランティアの育成やおもてなしの向上に要する経費の一部を負担	計画どおり	400	H20	独自性	<p>①【官民が連携したおもてなし体制の構築】 市民や事業者の全体的なおもてなし能力を向上させるため、官民協同で設置した「おもてなし推進委員会」において、セミナーや出前講座などのおもてなし運動を推進することで、市民や事業者の「おもてなし」能力の向上が図られた。</p> <p>②【更なるおもてなしの充実】 今後も、更なる「おもてなし力」の向上と充実を図るため、引き続き、「おもてなし推進委員会」を活用し、講座やセミナーの開催などを行い、おもてなし日本一のまちづくりを推進していく。</p>
観光コンベンション協会事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		本市の玄関口でもあるJR宇都宮駅観光案内所において、来訪者へ丁寧でわかりやすい観光案内を行うことで、おもてなしの向上を目指す	宇都宮観光コンベンション協会	観光案内所などの維持管理及び運営事業に要する経費を負担	計画どおり	9,020	H12		<p>①【観光客への案内充実】 翻訳機能付きタブレットの導入など、観光客の受入態勢の強化により、JR宇都宮駅観光案内所が、日本政府観光局が認定するカテゴリⅡに昇格するなど、案内機能の強化が図られた。</p> <p>②【案内機能の更なる充実】 今後は、観光案内所の更なる機能強化を図るため、広域案内の提供や多言語対応の強化に取り組み、観光客のニーズを踏まえながら、更なるおもてなしの向上を図っていく。</p>
観光振興促進事業(補助金)	IV-14	おもてなしの充実		事業者が行う、観光施設の改築や備品の購入等を支援することで、本市の更なる観光振興を図る	・本市に体験型観光施設を設置しようとする事業者、工場、伝統工芸品店その他商店等 ・大谷エリアでの新たな飲食店出店希望者	整備に要する経費の一部を補助	計画どおり	8,000	H18		<p>①【観光施設・事業所出店への支援】 大谷エリアへの新たな出店事業者等を支援することにより、飲食店等の整備が促進され、観光客へのアメニティの向上が図られた。</p> <p>②【補助金の活用促進】 今後も、ものづくり等の体験施設や飲食・土産品販売の施設を整備する事業者への支援を行い、観光客へのおもてなしの充実に取り組んでいく。</p>

観光情報発信強化事業	IV-14	おもてなしの充実		宇都宮観光アプリによる本市の観光情報の発信を行うことで、快適な市内観光を提供する。	国内外からの本市来訪者	・アプリ運用維持管理 ・観光プロモーション映像の活用	計画どおり	4,882	H27		<p>①【誘客促進と市内観光案内の充実】</p> <p>宇都宮観光アプリによる観光情報、飲食店情報等の発信を、日本人はもとより、外国人に対しても行うことで、観光客の受入体制やおもてなしの充実が図られた。一方で、近年、ダウンロードの件数が伸び悩んでいることから、アプリ内コンテンツを充実させる必要がある。</p> <p>②【観光アプリの利用促進】</p> <p>アプリ機能のひとつである周遊スタンプラリーの活用や、市内観光施設等のより細かな情報の掲載などにより、アプリの更なる利用促進に取り組んでいく。</p>
外国人観光客受入体制の整備	IV-14	おもてなしの充実		外国人観光客が快適に市内旅行をしてもらえるよう、市内の受入環境を整備する。	市・民間団体等	・外国人観光客向け公衆無線LANの整備、運用維持管理 ・観光施設等における案内看板やホームページ、メニューなどの多言語化に係る費用の一部を交付	計画どおり	2,500	H29		<p>①【外国人観光客の受入環境の充実】</p> <p>公衆無線LANの設置や、民間の観光施設における多言語対応などを促進することで、本市の受入体制の充実を図った。一方で、外国人受入体制補助金の申請件数が前年を下回った。</p> <p>②【補助制度の利用促進】</p> <p>今後は、公衆無線LANの設置をはじめとした環境整備やパンフレットやアプリ、タブレット等を活用した多言語による情報発信や観光案内の充実を図るとともに、積極的に民間事業者に働きかけを行うなど、補助制度の利用促進に取り組む。</p>
オリンピックキャンプ地誘致事業	IV-14	戦略的観光の推進		MICEの推進と誘客の促進	各国競技団体や国際スポーツイベント主催者	国際的なスポーツイベントの開催時における集客・交流促進に向けた企画及びPR	計画どおり	0	H26		<p>①【事前キャンプの受入に係る意見交換・情報収集の実施】</p> <p>ハンガリーオリンピック委員会と栃木県によって締結された協定に基づき行われる事前キャンプについて、本市にとって意義のある取組となるよう、引き続き、県との意見交換や情報収集を行った。</p> <p>②【国際スポーツイベントの開催に関連付けたレガシー創出】</p> <p>令和元年度に開催する「3x3ワールドツアーつのみやファイナル」開催時に、東京オリンピックの3x3出場国を発表するなど、「東京オリンピック・パラリンピック」開催を契機としたビッグブライドの醸成やレガシー創出に取り組んでいく。</p>
ツール・ド・とちぎおもてなし事業	IV-14	戦略的観光の推進		誘客の促進	・ツール・ド・とちぎ実行委員会 ・大会来訪者	・ツール・ド・とちぎの開催に係る費用の一部を負担 ・大会来訪者に対して「自転車のまち宇都宮」のPRを実施	計画どおり	1,000	H28		<p>①【大会を活用したPRと誘客促進】</p> <p>矢板市の「道の駅やいた周辺コース」で開催された第2ステージにおいて、観戦者18,000人に対して、ジャパンカップをはじめとした「自転車のまち宇都宮」のPRを実施した。</p> <p>②【大会を活用したPRと誘客促進の継続】</p> <p>引き続き、大会を活用した本市の効果的なPRを行い、誘客を促進する。</p>

「よみがえれ！宇都宮城」市民の会活動補助事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民主体による宇都宮城の歴史の伝承及び、郷土愛の醸成	「よみがえれ！宇都宮城」市民の会	城址まつりや歴史講演会等を通じ、宇都宮城の歴史の伝承や郷土愛の醸成を目的とする活動費助成	計画どおり	5,973	H14		<p>①【宇都宮城址公園を活用した郷土への愛着や誇りの醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城址公園を活用した「城址まつり」や「桜まつり」のほか、2回の「歴史講演会」など、計画どおり事業を実施し、例年並みの来園者数を記録するなど、市民の郷土への愛着や誇りの醸成を図った。しかしながら、「よみがえれ！宇都宮城」市民の会の正会員数は会員の高齢化などもあり、昨年度より減少している。 ・また、新たに「宇都宮城魅力向上検討委員会」を設置し、宇都宮城の魅力向上に向けた検討を行い、結果をまとめた。 <p>②【「よみがえれ！宇都宮城」市民の会主体の運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なるイベント等の定着に向けて、より多くの市民に宇都宮城の歴史を伝え、郷土への愛着や誇りを醸成していくため、「よみがえれ！宇都宮城」市民の会における事業内容を充実させるとともに、引き続き、交付金を交付するほか、同会がさらに魅力ある団体となり、正会員が増加するよう支援していく。 ・また、更なる宇都宮城の魅力向上に向け、短中期的に対応可能な活動の具体的な手段・手法等を検討・推進していけるよう支援していく。
市民芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	宇都宮市民芸術祭実行委員会	宇都宮市民芸術祭の開催、40周年記念事業計画の作成	計画どおり	7,248	S55		<p>①【40周年に向けた記念事業計画の作成・事業化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の40周年に向けて、実行委員会において節目に相応しい多彩な記念事業を企画したほか、新たにメディア芸術部門を立ち上げた。また、記念事業の開催にあたり民間等助成を獲得し自主財源の確保に努めた。 <p>②【40周年記念事業の開催を契機とした市民芸術祭の更なる活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業を円滑かつ効果的に実施するとともに、記念事業の取組で築くジャンルを超えた繋がりや盛り上がりを生かし、メディア芸術の充実や情報発信の強化など広く市民にアピールするとともに、若い世代の一層の参加を呼び込み裾野を広げるなど、市民芸術祭の更なる飛躍に向けた新たなステージへの第一歩にしている。
ジュニア芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	小中高校生の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	うつのみやジュニア芸術祭実行委員会	うつのみやジュニア芸術祭の開催	計画どおり	3,889	H11		<p>①【20周年記念事業の円滑かつ効果的な開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業の開催を通じて、市民の認知度が一層高まるとともに、各ジャンルの垣根を超えた子どもたちの交流の場を創出することで芸術文化に対する意識の高揚を図ることができた。また記念事業の開催にあたり県の助成を獲得し自主財源の確保に努めた。 <p>②【20周年記念事業の開催を契機としたジュニア芸術祭の更なる活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業の取組で築いたジャンルを超えた繋がりや盛り上がりを生かし、芸術文化の魅力や伝えるなど広く子どもたちにジュニア芸術祭への参加をアピールするとともに、市民に子どもたちの活動や成長を一層感じてもらえる機会を創出するなど創意工夫を図っていく。
文化協会事業補助金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民主体による芸術文化の普及・振興を図る。	宇都宮市文化協会	ふれあい文化教室・文化協会まつり・文化協会会員展等の実施	計画どおり	1,380	S54		<p>①【各種事業の実施を通じた文化振興への寄与】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会会員が講師となり小中学校において筆・尺八や民謡、三味線や茶道など様々な文化の体験機会を提供している「ふれあい文化教室」は、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成のほか、郷土に対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与している。 <p>②【市民主体による文化活動の促進への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市文化協会は各ジャンルで活躍している市内芸術家を束ねた稀有な有団体であり、引き続き市民主体の文化活動への支援を行うとともに、令和元年度は県内持ち回り開催の栃木県文化振興大会が本市で開催されることから、市と文化協会が連携しながら本市の文化力のPRに繋がる事業を実施していく。

芸術文化団体派遣補助金	IV-15	文化活動の充実		文化団体のレベルアップや意欲向上を図り、本市の文化振興に寄与する。	全国大会に出場する文化団体	全国大会出場経費の一部補助	計画どおり	65	S62		<p>①【全国大会へ出場する文化団体の支援を通じた文化振興への寄与】 市民が全国レベルの文化芸術を体感することで、活動の活性化やレベルアップにつながり、本市の文化振興に寄与している。</p> <p>②【利用実態を踏まえた事業の休止】 全国大会に出場する文化団体への激励費として団体からの申請に基づき補助を行ってきたが、昭和62年度の制度開始から年々事業規模が縮小する中で申請者の固定傾向や分野の偏りが見られるなど利用促進が図られていないことから休止する。</p>	縮小
宇都宮エスペール文化振興事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	次代を担う芸術家の育成・支援を図り、本市の文化振興に寄与する。	今後の活躍が期待できる本市ゆかりの優れた芸術家	宇都宮エスペール賞の選考、受賞者に育成金(200万円)を贈呈	計画どおり	2,971	H13	独自性	<p>①【宇都宮エスペール賞の選考による本市ゆかりの芸術家の育成・支援】 地元の若手芸術家を育成・支援する取組は全国的にも稀有であり、昨年度はホール部門の選考・宇都宮エスペール賞に選出を通じて、優れた芸術家を発掘することができた。</p> <p>②【質の高い芸術文化に市民が触れる機会の提供】 これまでの受賞者が活動成果を発表する「プロボート事業」を開催し、市民が質の高い芸術文化に触れる機会を創出し、本市文化のより一層の振興に繋げていく。</p>	
文化創造財団運営補助金	IV-15	文化活動の充実		市民文化の創造を図り本市の文化振興に寄与するため設立した文化創造財団の円滑な組織運営を支援する。	(公財)うつのみや文化創造財団	財団の組織運営に要する経費の一部補助	計画どおり	83,207	H14		<p>①【宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の適切な管理運営の実施】 宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の指定管理者として、施設の適切な管理運営と受託事業を円滑に実施するとともに、「石と音楽のまちコンサート」などの財団独自の自主事業を実施し、芸術文化の振興に寄与した。</p> <p>②【本市の文化振興の中核組織としての機能強化】 財団の専門性の更なる向上と事務局機能の強化を図るため組織再編を行い平成29年度より新体制でスタートしたところであり、引き続き、事務局を核として組織経営や内部統治に計画的・戦略的に取り組むほか、美術館と文化会館の連携によるアートやデザインと音楽を融合した事業や、市民全体に波及する事業を効果的に実施していけるよう指導・支援を行っていく。</p>	
文化会館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		文化会館の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団(指定管理者)	文化会館の管理運営に係る指定管理料	計画どおり	339,125	S54		<p>①【様々な舞台芸術事業を通じた文化振興の推進】 クラシックや邦楽、ジャズ、演劇など幅広いジャンルの舞台芸術事業を展開したほか、子どもたちへの教育普及事業を実施し芸術文化の振興を図った。</p> <p>②【文化団体等との連携及び情報発信力の強化】 会館の持つ舞台技術や事業実施の専門スキルを生かし、教育普及事業をはじめ、良質かつ魅力的な舞台芸術事業を企画するほか、地域や団体が行う文化芸術活動の支援や民間の文化活動を含めた幅広い情報の収集・発信に積極的に取り組んでいく。</p>	

文化会館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供する。	宇都宮市文化会館(利用者)	文化会館の施設・設備の計画保全や緊急対応	計画どおり	6,414	S54		<p>①【計画的な保全整備による安全かつ快適な施設環境の維持】 開館から35年以上経過しており、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組んだ。</p> <p>②【第2期大規模改修工事に向けた取組の推進】 第1期大規模改修工事(2015年～2016年)の検証、評価を踏まえ、第2期工事の改修項目を精査し事業化を推進する。</p>	
美術館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		美術館及び文化の森の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団(指定管理者)	美術館及び文化の森の管理運営に係る指定管理料	計画どおり	390,566	H9		<p>①【様々なアート事業を通じた文化振興の推進】 作品収集方針に沿ったデザインや宇都宮にゆかりのある作家の企画展を展開したほか、学芸員が学校に向き子どもたちにアートを体験する機会を提供するなどの教育普及事業を実施し、芸術文化の振興を図った。</p> <p>②【魅力ある展覧会等の実施と美術館の満足度向上】 学芸員の幅広い専門知識やスキルを更に活かし、これまで収集した6,700点を超えるコレクションを活用した魅力ある常設展の開催や、過去に実施した大谷石や宮染めなど本市の資源を活かし地域や産業界と連携した館外プロジェクトの企画、自然豊かな文化の森に立地する特色を生かした事業を企画するとともに、ミュージアムショップやレストランと連携した事業展開により美術館の満足度向上に取り組んでいく。</p>	
美術館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供するとともに、美術品の適切な保護を図る。	宇都宮美術館(利用者、美術品)	美術館の施設・設備の計画的保全や緊急対応	計画どおり	25,010	H9		<p>①【計画的な保全整備による安全かつ快適な施設環境の維持】 開館から20年以上経過しており、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組んだ。</p> <p>②【大規模改修工事に向けた取組の推進】 平成29年度に実施した施設劣化診断及び改修手法等調査を踏まえ、改修・整備箇所を精査するとともに、今後の美術館が備えるべき機能の検討と併せて施設整備方針を策定し事業化を推進していく。</p>	
美術館訪問鑑賞会事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	子どもたちが質の高い芸術に親しむ機会を提供する。	市内小中学生	市有バス等を活用して美術館を訪問し、展覧会の鑑賞等を行う。	計画どおり	193	H30		<p>①【子どもたちが優れたアートに触れる機会の提供】 新規事業として実施し、参加した児童生徒や教職員の満足度も高く、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成に寄与した。</p> <p>②【ニーズに対応した事業の拡充】 学校から定員を超える申込があったことから、日数を増やし、より多くの子どもたちに優れたアートに触れる機会を提供していく。</p>	拡大

指定文化財管理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の維持管理に要する経費の一部を補助	計画どおり	97	S31		<p>①【計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】 計画的な維持管理に取り組み、国指定文化財として価値の保存を図った。</p> <p>②【貴重な文化財の保存・継承の推進】 貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>
指定文化財等保存修理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存や活用を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の修理に要する経費の一部を補助	計画どおり	3,531	S31		<p>①【計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】 計画的な維持管理に取り組み、指定文化財として価値の保存を図った。</p> <p>②【貴重な文化財の保存・継承の推進】 貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>
指定文化財保存活動費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な指定文化財等の保存や活用、継承を図る。	市内の指定文化財等の保存・愛護活動団体	指定文化財の維持管理活動や伝承活動等に要する経費の一部を補助	計画どおり	1,410	S32		<p>①【市民主体による文化財の保存・継承の推進】 文化財保存・愛護団体における文化財周辺の清掃・除草作業、獅子舞の練習や祭りへの参加、民俗衣装や道具の更新などの取組を通じて文化財の保存や継承を図った。</p> <p>②【(仮称)宇都宮市民遺産制度の創設に向けた取組の推進】 未指定の歴史文化資源の中にも地域の絆づくりやコミュニティ形成に資する地域の宝となる資源があることから、社会全体でこうした歴史文化資源を将来に引き継いでいくため、「(仮称)宇都宮市民遺産制度」の創設に向けて検討を進める。</p>
文化財ボランティア支援事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市民協働により貴重な文化財の周知啓発を図る。	宇都宮市文化財ボランティア協議会 市民、来訪者	文化財ボランティア養成講座の開催、城址公園等における案内活動等の実施	計画どおり	64	H20		<p>①【各種事業の実施を通じた文化財の周知啓発の推進】 文化財ボランティアによる宇都宮城址公園を中心とした解説案内等により、本市の歴史文化について市民や来訪者の理解促進を図った。また、養成講座や研修会等を通して、文化財ボランティアの育成や資質向上を図った。</p> <p>②【大谷石文化の保存・活用に向けた文化財ボランティア協議会との連携強化】 日本遺産に認定された大谷石文化のストーリーや構成文化財を市民や来訪者にわかりやすく伝えるガイドの養成に向け、文化財ボランティア協議会等と連携しながら「大谷石文化のストーリー伝え方講座」の開催などに取り組んでいく。</p>

文化財周知啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化や文化財に対する理解促進や認知度向上を図る。	市民、来訪者	文化財めぐり・ウォークラリー・普及啓発資料の作成等の実施	計画どおり	911	H3	<p>①【各種事業の実施を通じた歴史文化に対する意識の高揚】 テーマに応じた文化財に触れる機会の創出や学校教育との連携による歴史文化の理解促進等に取り組み、市民や子どもたちの郷土に対する誇りや愛着の醸成を図った。</p> <p>②【宇都宮学の推進による郷土愛の醸成】 将来を担う子どもたちが宇都宮の歴史や伝統文化など本市の良さを理解するため、郷土・宇都宮について学習する「宇都宮学」の円滑な実施に向け、学校教育課と連携して児童生徒用の副読本や教師用の指導書の作成などに取り組んでいく。</p>	
宇都宮伝統(ふるさと)文化継承事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市民協働により本市に伝わる伝統文化・芸能・食等の保存と継承を図る。	宇都宮伝統文化連絡協議会	伝統文化フェスティバル・宮っ子伝統文化体験教室・伝統文化講座・ふるさと料理講座等の実施	計画どおり	3,368	H20	<p>①【各種事業の実施を通じた歴史文化に対する意識の高揚】 伝統文化連絡協議会会員が講師となり小中学校において獅子舞等の伝統芸能や黄ぶな絵付け等の伝統工芸、地域に伝わる民話等の体験機会を提供している「宮っ子伝統文化体験教室」は、子どもたちの郷土に対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与している。</p> <p>②【市民主体による伝統文化の継承活動への支援】 宇都宮伝統文化連絡協議会は本市の伝統文化を振興し、次世代に継承していくため全国に先駆け本市において立ち上げられた団体であり、今後とも連携を強化しながら「宮っ子伝統文化体験教室」や「伝統文化フェスティバル」等を通じて、伝統文化に身近に触れる機会を創出するとともに、地域における継承活動の環境づくりや人材育成への支援を図っていく。</p>	
文化遺産を活用した地域活性化事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化基本構想に基づき、本市の歴史文化資源に対する理解促進と認知度向上を図る。 ・大谷地域の重要な文化的景観選定に向けた取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市歴史文化資源活用推進協議会 ・人々の生活や生業などにより作られた大谷地域の文化的な景観 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の歴史文化を紐解くエイト・ストーリーの普及啓発の実施 ・大谷地域の重要な文化的景観選定に向けた調査検討の実施 	計画どおり	3,980	H28	<p>①【本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進】 本市の歴史文化の魅力や特色を紐解くエイト・ストーリーの普及啓発資料等の作成に取り組んだほか、大谷地域の文化的景観を将来にわたって保存するため、国の重要な文化的景観選定に向けた調査検討業務を実施した。</p> <p>②【本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進】 エイト・ストーリーの更なる普及啓発に向け映像資料を制作するほか、「歴史と文化財ホームページ」のリニューアルに取り組み効果的な情報発信を推進する。また、大谷地域の重要な文化的景観選定に向け、選定申出に必要な文化的景観保存計画の策定に取り組んでいく。</p>	拡大
日本遺産を通じた大谷石文化の保存・活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	「日本遺産 大谷石文化」の理解促進と認知度向上、保存活用を図る。	宇都宮市大谷石文化推進協議会	調査研究・情報発信・普及啓発・人材育成に係る事業の実施	計画どおり	40,624	H30	<p>①【宇都宮市大谷石文化推進協議会を核とした魅力発信事業の推進】 本市が申請した「地下迷宮の秘密を探る旅～大谷石文化が息づくまち宇都宮～」のストーリーが国の日本遺産に認定され、官民連携の宇都宮市大谷石文化推進協議会を設置し、大谷石文化の保存や活用に向け、調査研究・情報発信・普及啓発・人材育成に係る様々な事業を実施した。</p> <p>②【大谷石文化に係る市民理解の促進と認知度向上】 様々な機会や媒体を通じて大谷石文化の価値や魅力の情報発信や普及啓発の充実を図り、地域の活性化につなげるほか、官民連携により大谷石文化を活かした観光メニューの創出などの取組を推進するとともに、協議会が持続的に活動できる組織体制づくりに取り組んでいく。</p>	

文化財調査事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		・文化財保護法に基づき、開発行為に伴う埋蔵文化財の適切な保護を図る。 ・市民協働により指定文化財の適切な保護を図る。	・市内の埋蔵文化財包蔵地 ・市内の指定文化財等	・埋蔵文化財包蔵地における開発行為に伴う発掘調査等の実施 ・宇都宮市文化財調査員活動の実施	計画どおり	2,575	S42		<p>①【埋蔵文化財及び指定文化財の適切な保護】 文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為に対し発掘調査等を行うなど埋蔵文化財の適切な保護を図った。また、宇都宮市文化財調査員と連携し指定文化財の現況を調査・把握し、修繕を行うなど適切な保護を図った。</p> <p>②【民間事業者の法令遵守意識の高揚による埋蔵文化財の適切な保護の推進】 文化財保護法に基づく届出を行わず埋蔵文化財包蔵地において開発行為等を行う事業が年数件発生していることから、開発許認可窓口に周知文書を備え付けるなど、民間事業者に対する法令遵守や文化財の適切な保護に対する意識高揚や指導の徹底を図っていく。</p>
とびやま歴史体験館活用・啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化に対する理解促進を図る。	市民、来訪者	企画展・講演会の開催	計画どおり	276	H17		<p>①【本市の歴史文化に関する普及啓発の推進】 毎年様々なテーマによる企画展や講演会を開催し、本市の歴史文化に対する理解促進に努めた。</p> <p>②【とびやま歴史体験館の効果的な活用に向けた検討】 LRTの整備・開通を見据え、とびやま歴史体験館のより効果的な活用や誘客促進について検討を進めていく。</p>
飛山城跡整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	飛山城跡の適切な保存と活用を図る。	飛山城跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画どおり	4,439	S52		<p>①【計画的な保全整備による安全かつ良好な史跡の保存】 施設・設備の計画的な保全整備に取り組み、国指定史跡として価値の保存を図った。</p> <p>②【飛山城跡の効果的な活用に向けた検討】 LRTの整備・開通を見据え、飛山城跡や周辺文化財の案内など効果的な活用について検討を進めるとともに、経年劣化に伴う復元建物等の計画的な保全整備を図っていく。</p>
上神主・茂原官衙遺跡保存整備事務費	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		上三川町と連携し上神主・茂原官衙遺跡の適切な保存と活用を図る。	上神主・茂原官衙遺跡(国指定史跡)	普及啓発事業の実施、保存のあり方の検討	計画どおり	2,185	H20		<p>①【普及啓発の推進及び整備のあり方の検討】 ウォーキングの開催や中学1年生向けパンフレットを配布するなど普及啓発を図るとともに、保存整備委員会を開催し整備のあり方の検討を行った。</p> <p>②【普及啓発の推進及び整備のあり方の検討】 上三川町と連携しながら保存整備委員会において今後の活用方策や整備のあり方等について引き続き検討を行うほか、史跡周辺のウォーキングなどの普及啓発事業を実施し認知度の向上と保存に向けた機運醸成を図っていく。</p>

史跡等整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市内の文化財や史跡、天然記念物等の適切な保存と活用を図る。	市内の文化財や史跡、天然記念物等	旧大谷公会堂(国登録有形文化財)の保存、上籠谷町大フジ(市天然記念物)の環境整備	計画どおり	432	H20		<p>①【計画的な保全整備による安全かつ良好な史跡等の保存】 史跡等の計画的な保全整備に取り組み、国指定文化財として価値の保存を図った。</p> <p>②【貴重な史跡等の保存・継承の推進】 貴重な史跡等を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、史跡等の適切な保全整備の取組を推進していく。</p>
うつのみや百人一首市民大会交付金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市ゆかりの百人一首に触れ親しむ機会の創出を通じて、郷土愛の醸成と本市のブランド力の向上に寄与する。	うつのみや百人一首市民大会実行委員会	うつのみや百人一首市民大会の開催、運生記念全国競技かるた宇都宮大会の開催、百人一首普及啓発事業の実施	計画以上	2,372	H8	独自性 トップクラス	<p>①【百人一首のまちとしての認知度の向上】 市民大会では小学生部門・個人戦部門でレベル分けを行ったことでより楽しみやすくなり、市民大会・全国大会ともに参加者が過去最多を更新するなど「百人一首のまち」としての市内外の認知度が高まってきている。</p> <p>②【大会の円滑な運営及びブランド力の向上】 大会参加者の増加に伴い、会場のプレックスアリーナ宇都宮において、安全かつ円滑な運営を確保するための適正な事業規模や運営スタッフの確保について検討していく。また、市内外に効果的なPRを行い「百人一首のまち」としてブランド力の更なる向上を図っていく。</p>
ジャズのまち普及事業補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	ジャズを核とした幅広い音楽の振興を通じて、郷土愛の醸成と地域の活性化に寄与する。	うつのみやジャズのまち委員会	ふれあい文化教室・ジャズセミナー・学校普及ジャズ等の実施	計画どおり	1,444	H22		<p>①【子どもたちへのジャズの普及の充実】 子どもたちが本市ゆかりのジャズに親しむ機会を増やすため、学校に専門講師を派遣する「ふれあい文化教室」の回数を12回から15回に増やすなど、ジャズを核とした音楽の振興に努めた。</p> <p>②【教育普及事業の充実及びブランド力の向上】 「うつのみやジャズのまち委員会」や事務局を担う観光交流課との連携を強化し、教育普及事業やジャズライブ事業などを効果的に推進し、「ジャズのまち」としてブランド力の更なる向上を図っていく。</p>
妖精資料活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	妖精ミュージアムを核とした妖精資料の普及啓発を通じて、中心市街地の活性化に寄与する。	市民、来館者	企画展の開催、ギャラリートーク・読み聞かせ等の実施	計画どおり	12,949	H19	独自性	<p>①【妖精ミュージアムを核とした多彩な事業の実施】 妖精人形展や伊藤遼平(エスパー賞受賞者)展など妖精ミュージアムの雰囲気合った個性ある企画展をはじめ多彩な事業を実施し、アンケートからも来館者の高い満足を得ている。</p> <p>②【親子をターゲットとした企画等の充実及び中心市街地の活性化への寄与】 ボランティアとの連携を図りながら円滑に施設運営を行うとともに、ゆうあい広場との連携強化やファミリー向けの企画など魅力的な事業を実施するほか、全国的にも稀有な妖精ミュージアムとして、SNSを活用してイベント情報を随時発信するなど、市内外への効果的なPRを行い中心市街地の活性化を図っていく。</p>